

静寂に包まれた寺町の風景には、  
安全で平穏な暮らしを神仏に祈る人々の  
深い心が見え隠れしています。

# 古の文化を 伝える 寺町

いにしえ



## 林照寺

室町時代末期創建、浄土真宗の寺。桃山様式の唐門が人の往来を見守っています。



## 西教寺

藩政時代には安楽寺と同等の格式を持っていた浄土真宗の大寺。親鸞上人の像が寺宝となっています。



## 願勝寺の枯山水

南北朝時代の築造と推定される、四国最古級の池泉式枯山水の庭園。

## 常念寺

浄土真宗の寺。「慈の苑」と呼ばれる庭園が山門前にあります。

## 安楽寺重層門

朱塗りの重層門は「赤門」と呼ばれ、県下五大門の一つ。古くから阿波・讃岐などの各地に寺院を創立し、栄えてきました。





#### 国指定史跡 段の塚穴

古墳時代後期築造。四国では最大級の横穴式石室を持つ古墳です。

#### 安家寺能舞台

寺院は仏の教えを伝えること以外に、伝統の継承も大切であるという考えから、平成8年に誕生。伝統芸能や講演などに使われています。

まるで都と思えるほどの山門がそびえ、堂々たる伽藍が建ち並ぶ寺町。山里の穏やかな風情の中、壮大な伽藍や往時を偲ぶ石灯籠、覆い尽くすかのように迫る山門の姿は、文化の豊かさを物語っており、街道を歩く旅人は感嘆せずにはいられません。

寺町には、由緒ある古刹が多く残っています。赤門で有名な安楽寺は、四国最古級にして最有力の浄土真宗寺院であり、徳島県下で唯一能舞台を備えた寺としても知られています。また、奈良時代に創建された名利・願勝寺には、四国最古級の枯山水の庭園があります。

深い歴史が宿る寺院の薈が、緑の山を背に波打つ寺町の風情。その荘厳さとはうらはらに、しっかりとした古都の趣が漂い、古代からの文化の先進地であったことを物語っています。太古の時代から、人々が住まう地に祈りがあり、祈りがあるところ、平穏な時間が流れる——。私たちの祖先がよりどころとしてきたもの。それは時を紡ぐ中で宝となり、今も美馬の地に安泰をもたらしています。



#### 青木家住宅

故・青木伊三郎氏が大正4年に建築した豪邸。各種イベント、研修などの会場にも利用されています。

#### 国指定史跡 郡里廃寺跡

白鳳時代に創建された県内最古級の寺院跡。法起寺式伽藍配置であることが明らかとなっています。



#### 郡里廃寺跡出土磁瓦

瓦、土器などが発掘されており、瓦は市内の坊僧堂跡群で焼かれたものと考えられています。



NPO法人郡里交流会 寺町案内人 井村扶さん

### 私のまほろば 住人十色

段の塚穴のような古墳時代から続く史実、願勝寺や安楽寺のような寺町の史跡などは、市にとって自慢できるものなと思います。また、寺町の地域は、昭和30年頃まで和傘の生産地であったことから、近年では、訪れた方々の記念撮影で和傘を利用するなど、伝統文化のPRに取組んでいます。さらに防災交流センターを活用し、書や写真展、パフォーマンスなどの地域活動にも力を入れています。